



母子健康手帳について

母と子の健康を守り、明るい家庭をつくりましょう。

*妊娠中や乳幼児期は急に健康状態が変化しやすいこと、この時期が生涯にわたる健康づくりの基盤となることから、お母さんとお子さんの健康を守るために母子健康手帳がつくれました。受けとったら、まず一通り読んで妊婦自身や保護者の記録欄などに記入しましょう。

*この手帳は、お母さんとお子さんの健康記録として大切です。健康診査、産科や小児科での診察、予防接種、保健指導などを受けるときは、必ず持つて行き、必要に応じて書き入れてもらいましょう。手帳の記録は、お子さんの健康診断のときの参考となるばかりでなく、予防接種の公的記録として就学後も役立つものなので、紛失しないように注意してください。また、お母さんとお子さんの健康状態、健診結果などの覚え書きとしても利用してください。

*この手帳を活用して、お母さんとお父さんがいっしょになって赤ちゃんの健康、発育に関心を持ちましょう。お父さんもお子さんの様子や自分の気持ちなどを積極的に記録しましょう。お子さんが成人されたときに、お母さん・お父さんから手渡してあげることも有意義です。

*双生児(ふたご)以上のお子さんが生まれることがわかった場合は、お住まいの市区町村窓口からお子さん1人につき手帳1冊となるように新たに母子健康手帳を受けとってください。

*使用に支障をきたすほど破れたり、よごれたり、なくしたりしたときは、お住まいの市区町村窓口で母子健康手帳の再交付を受けましょう。

*その他わからないことは、受けとった市区町村窓口、保健所、市町村保健センターで聞きましょう。

●適用ください○○○ マタニティマーク



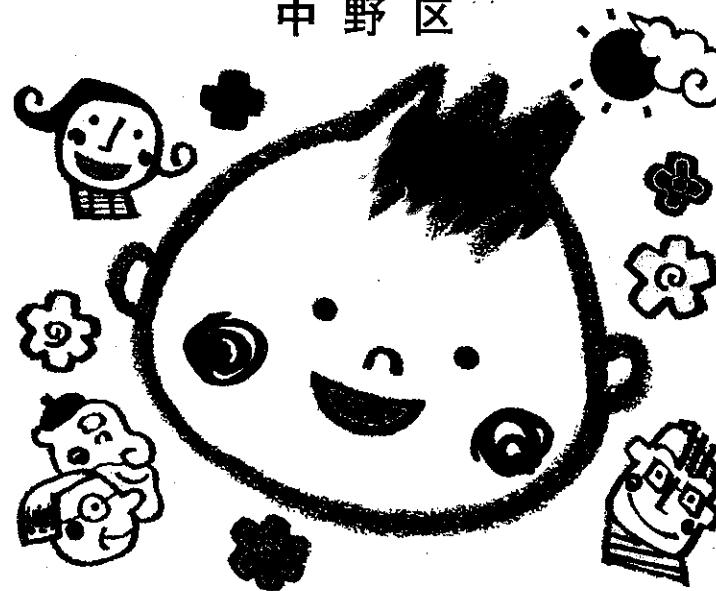
マタニティマークは、妊娠が交通機関等を利用する際に身につけ、周囲に妊娠であることを示しやすくなるものです。また、交通機関、職場、飲食店などが呼びかけ文を添えてポスターなどとして掲示し、妊娠にやさしい環境づくりを推進するものです。

●マタニティマークホームページ

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2006/03/h0301-1.html#bettei2>

母子健康手帳

中野区



平成 年 月 日 交付

ふりがな
保護者の氏名: _____

:

ふりがな _____

子の氏名 (第 子)

生年月日: 平成 年 月 日 性別:

No.

* * * 予防接種の記録 (1) * * *

Immunization Record

感染症から子ども（自分の子どもはもちろん、まわりの子どもたちも）を守るために、予防接種は非常に効果の高い手段の一つです。子どもたちの健康を守るために予防接種の効果と副反応をよく理解し、予防接種を受けましょう。

ジフテリア・百日せき・破傷風 Diphtheria · Pertussis · Tetanus

時 期	ワクチンの種類 Vaccine	接種年月日 Y/M/D (年齢)	メーカー/ロット Manufacturer/ Lot.No.	接種者署名 Physician	備 考 Remarks
第1期初回	1回				
	2回				
	3回				
第1期追加					

B C G

接種年月日 Y/M/D (年齢)	メーカー/ロット Manufacturer/ Lot.No.	接種者署名 Physician	備 考 Remarks

◎薬剤や食品などのアレルギー記入欄

* * * 予防接種の記録 (2) * * *

ワクチンの種類 Vaccine	接種年月日 Y/M/D (年齢)	メーカー/ロット Manufacturer/ Lot.No.	接種者署名 Physician	備 考 Remarks
ポリオ Polio				
麻しん (はしか) Measles	第1期			
	第2期			
風しん Rubella				

日本脳炎 Japanese Encephalitis

時 期	接種年月日 Y/M/D (年齢)	メーカー/ロット Manufacturer/ Lot.No.	接種者署名 Physician	備 考 Remarks
第1期初回	1回			
	2回			
	第1期追加			

* * * 予防接種の記録 (3) * * *

ワクチンの種類 Vaccine	接種年月日 Y/M/D (年齢)	メーカー/ロット Manufacturer/ Lot.No.	接種者署名 Physician	備考 Remarks
ジフテリア 破傷風 Diphtheria-Tetanus	第2期			
日本脳炎 Japanese Encephalitis	第2期			
インフルエンザ菌b型 (Hib) Haemophilus influenzae type b	1回 2回 3回 追加			
小児用肺炎球菌 (7価結合型) Streptococcus pneumoniae	1回 2回 3回 追加			
ロタウイルス Rota (1価・5価)	1回 2回 3回			

* * * 予防接種の記録 (4) * * *

五
防
措
施

* * * 予防接種の記録(5) * * *

予防接種

予防接種の種類(平成23年12月末現在)

予防接種には、予防接種法に基づき市区町村が実施する定期接種（対象者は予防接種を受けるよう努力する）と、対象者の希望により行う任意接種があります。市区町村が実施する予防接種の種類や補助内容の詳細については、市区町村などに確認しましょう。

子どもの定期接種

- ジフテリア・百日せき・破傷風(DPT) ●麻しん(はしか)・風しん
 - 日本脳炎 ●BCG(結核) ●ポリオ(急性灰白髄炎)

子どもの主な任意接種

- インフルエンザ菌b型(Hib) ○小児用肺炎球菌
 ○ヒトパピローマウイルス ●水痘(水ぼうそう) ●おたふくかぜ
 ○B型肝炎 ○インフルエンザ ●ロタウイルス

*●印のワクチンは、毒性の弱い細菌・ウイルスまたは毒性を弱めた細菌・ウイルスを生きまま使う生ワクチンです。次の予防接種を行なう日までの間隔を27日間(4週間)以上あける必要があるので、注意が必要です。○印は不活化ワクチンで、次の予防接種までの間隔は8日間(1週間)以上です。

*必要な場合は、複数のワクチンを同時に接種することができるので、かかりつけ小児科医と相談しましょう。

予防接種を受ける時期

市区町村が実施している予防接種は、予防接種の種類、実施内容とともに、接種の推奨時期についても定められています。それぞれの予防接種を実施する推奨時期は、お母さんから赤ちゃんにあげていた免疫効果の減少、感染症にかかりやすい年齢、かかった場合に重症化しやすい年齢などを考慮して設定されています。生後2か月から接種できるものもあるので、早めに市区町村、保健所、市町村保健センター、かかりつけ小児科医に問い合わせしましょう。

予防接種には、複数にわたって受けなければならないものもあります。指定日に接種を受けられなかったときには、かかりつけ医に相談しましょう。